

競 技 注 意 事 項

1 競技規則について

本大会は、2013年日本陸上競技連盟規則及び本大会申し合わせ事項によって行う。

2 練習について

(1)練習は、下記の通り。

	本競技場	補助競技場
9月19日(木)	13:00~16:50	13:00~16:50
20日(金)	7:30~8:40	7:30~16:50
21日(土)	7:30~9:00	7:30~16:50
22日(日)	7:30~9:00	7:30~14:00

(2)19日(木)の本競技場はトラック・跳躍種目(棒高跳・走幅跳)の使用を認める。

(3)本競技場、補助競技場での練習では、必ず競技役員の指示に従い、競技場備え付けの用具を使用すること。
(ゴムチューブ等は全面禁止とする。)

(4)投てき練習(メディシングボール等を含む)は一切禁止する。(4日間とも)

(5)補助競技場での走幅跳・三段跳の練習については、ピットが一つであるため、以下のような時間設定をする。

19日(木)	13:00~16:50	三段跳
20日(金)	7:30~16:50	走幅跳
21日(土)	7:30~11:30	走幅跳
21日(土)	11:30~16:50	三段跳
22日(日)	7:30~	三段跳

(6)補助競技場の芝生内でのスパイクの使用は禁止する。

3 招集について

(1)招集所は、競技場第4ゲートの外側に設ける。

(2)種目別の招集開始時刻、完了時刻は、プログラムの競技日程欄に記載のとおりである。

(3)招集の手順

①招集開始時刻に競技者係の点呼を受ける。同時にトラック種目出場者は腰ナンバーカード(4x100m第4走者、4x400m第2・3・4走者)を受け取り、両腰のやや後方に付けること。

(ナンバーカード、スパイク等の確認)

②点呼の代理は認めない。招集完了時刻に遅れたものは、棄権したものとして処理する。

③2種目同時に兼ねて出場する競技者は、事前に本人がプログラム巻末の「2種目同時出場届」に必要事項を記入し競技者係に提出すること。その場合は、代理人の点呼を認める。

(4)リレー種目について

①リレーオーダー用紙は、各ラウンド(予選・決勝)ともに、第1組目の招集完了時刻の1時間前までに、招集所まで提出すること。オーダー用紙はプログラム巻末の所定の用紙を使用すること。(上下とも記入のうえ提出し、控えをとること。)

②オーダー用紙の提出がない場合は、棄権したものとして処理する。

③点呼は、4人全員で受けること。(他種目に出場し、届出完了の場合は代理人可)

④4x100mのマーカーは、大会本部で準備する。(招集場で粘着テープ配布)

(5)事前に棄権の種目がある場合は、招集開始時刻までにプログラム巻末の棄権届に必要事項を記入し招集所に提出すること。

(6)招集所からスタートライン・跳躍場・投てき場へ行く場合、競技者係の指示に従うこと。

(7)招集所内に携帯電話等の通信機器を持ち込まないこと。

4 競技進行について

(1)番組編成及び競技の抽選について

①レーン順、試技順は、プログラム記載のとおりとする。準決勝以降の組み合わせはすべて番組編成員が行い、記録掲示付近と招集所で発表する。

②トラック競技において次のラウンドへ進出する際、その最下位で同タイム(1/100単位)が出た場合、下記の方法によって進出者を決定する。

・空きレーンがある場合・・・同タイム者の進出を認める。

・空きレーンがない場合・・・写真を拡大して精査し優劣の判定をする。

・それでも決められない場合・・・本人または代理人により抽選する。

・オープンレーンを使用する種目は同タイムの競技者全員が次のラウンドへ進める。

③ 2名以上の救済措置が出た場合の決勝について、セパレートレーンを使用する種目は2組タイムレースとする。ただし、800mは1つのレーンに2名入るものとする。

(2) 競技について

- ① 当該種目出場者以外は、競技エリアに立ち入ることはできない。
- ② 短距離種目では競技者の安全確保のため、フィニッシュライン通過後も自分のレーン（曲走路）を走ること。
- ③ トラック競技におけるスタートについて
A. スタート指示については英語とする。
 - a. 400mまでの競争（リレー競技を含む）における指示は、「位置について（On your marks : オン・ユア・マークス）」「用意（Set : セット）」の言葉を用いる。
 - b. 400mを超える競争（リレー競技を除く）における指示は、「位置について（On your marks : オン・ユア・マークス）」の言葉を用いる。
B. 一度目の不正スタートでも、その競技者は失格とする。
- ④ スパイクのピンの本数は11本以内とし、全天候型の9mm以下のものを使用する。ただし、走高跳・やり投については、12mm以下とする。
- ⑤ ナンバーカードは配布された大きさのままユニフォームの胸部と背部に付けること。ただし、跳躍競技に出場する競技者は、胸部または背部だけでよい。
- ⑥ 4×100mのマーカーは競技終了後、必ず自チームのマークを前走者が取り除くこと。
- ⑦ 競技場内での練習は、競技審判員の指示に従うこと。
- ⑧ フィールド競技において、コーチの助言が競技の進行を妨げないようにするため、近接の観客席にコーチ席を設けるので、競技者への助言はすべてコーチ席から行うこと。

(3) 走高跳・棒高跳のバーの上げ方は下記の通りとする。

男子走高跳	1年	1m70・1m85(練習)	1m75－1m80－1m83・・・ 以降3cm
	2年	1m75・1m90(練習)	1m80－1m83－1m86・・・ 以降3cm
女子走高跳	1年	1m43・1m55(練習)	1m46－1m49－1m52・・・ 以降3cm
	2年	1m46・1m58(練習)	1m49－1m52－1m55・・・ 以降3cm
男子棒高跳	1年	3m20・4m00(練習)	3m40－3m60－3m80－3m90・・・ 以降10cm
	2年	3m40・4m40(練習)	3m60－3m80－4m00－4m10・・・ 以降10cm

※同記録による1位決定の上げ下げは、走高跳2cm、棒高跳5cmとする。

(5) 男女5000mWは競技運営上の理由により、以下のタイムを超えて周回を残している場合ゴール地点で競技を中止させる。

男子 5000mW 30分 女子 5000mW 35分

5 競技用具について

- (1) 棒高跳ポール及びやり以外の競技用具は、競技場備え付けのものを使用すること。
- (2) やりの検査は、競技開始80分前より60分前までに、第2ゲート内側用器具庫前で行う。
(用器具庫外側にやり検定場所の表示)

6 抗議について

抗議は、日本陸上競技連盟競技規則により、各府県監督（当該校顧問同伴）が所定の手続きをとるものとする。

7 表彰について

- (1) 各種目第3位までの入賞者（リレーは6位まで）を表彰する。成績発表後直ちに、受賞者席（競技場正面玄関内ロビー）に集合すること。他の種目に出場している場合は、必ず代理人が表彰係まで連絡すること。
- (2) 閉会式（表彰式）では以下の表彰を行うので当該校（者）は必ず参加すること。
 - ・ 総合の部3位までの入賞校（男子総合・女子総合、学年別男子・学年別女子）
 - ・ 男女各学年の優秀競技者
 - ・ 男女各総合優勝校の監督

8 その他

- (1) 競技場の開門は、3日間とも7時30分とする。
- (2) 記録は補助競技場入口付近に掲示する。
- (3) 場所取りについて

- ① メインスタンド正面に各府県の監督席を割り当てる。
- ② メインスタンド及びサイドスタンド（通路等を含め）での場所取りは厳禁する。
- ③ 芝生席（サイド及びバック）について

19日（木）14：00より本抽選の順番を決める予備抽選、15：00より本抽選を行う。当選した学校は、20日（金）の開門後よりテントの設置等を行うことができ、3日間その区画が確保される。（抽

選は1校1回。)なお、バックの芝生席については、棒高跳のピットが非常に近いため、できるだけ後方のフェンスに近づけてテント等を設置すること。

④バックスタンドは、各府県別に割り振りをする。(使用については府県に任せる。)

⑤補助競技場内の場所取りは、一切禁止する。

⑥競技場外(公園内)のテント・シートの設置可能な場所については、別紙紀三井寺公園陸上競技場周辺図で確認し、通行の妨げにならないように配慮すること。特に、児童公園及びその付近の植え込み、テニスコート及び野球場の周囲への設置は厳禁する。

⑦競技場外の場所取りは、9月19日(木)9:00からとする。それまでに、ロープ等で囲っているものはすべて撤去する。

⑧それぞれ設置したテント・シート等は、競技終了後テントをたたみ、荷物を飛ばないようにして、まとめて置いておいてよいが、管理責任は問わない。

⑨雨天練習場において、シート、マット等での場所取りを一切禁止する。

(4)のぼり・横断幕・部旗等について

①20日(金)開門後から設置可能とする。また、最終日まではったままでよい。

②メインスタンド及びサイドスタンドへの設置は厳禁する。

③サイド芝生席については、横断幕は手前及び後方フェンスへ、のぼりは後方フェンスのみ設置することができる。

④バック芝生席については、手前フェンスへの設置は厳禁する。

⑤バックスタンドについては、ふさぐことのないように注意し、手すり等へ設置することができる。

(5)応援はスタンドで行い、競技場トラック周辺に降りて行わないこと。また、集団での連呼応援・かけ声は自粛すること。

(6)更衣は、補助競技場入口付近に更衣用テントを設置するので利用すること。競技場内の更衣室の使用は厳禁する。

(7)競技中における事故、負傷については、本部の医務室で応急処置のみ行う。

(8)スタンド及び競技場周辺の使用した場所は、各校で責任を持って清掃し、ゴミ等は各校で責任を持って持ち帰ること。また、競技場周辺のゴミ箱等には絶対に放置しないこと。

(9)競技場内に携帯電話等の通信機器を持ち込まないこと。

(10)貴重品、荷物類は各自で管理し、盗難等に充分注意すること。

(11)通行禁止、使用禁止の掲示のある場合は、厳守すること。